記者発表資料

平成２４年 ３月 ５日
東 北 地 方 整 備 局

日本風景街道 東北風景街道協議会を開催します

～優れた活動を行った団体を表彰します～

「日本風景街道」は、道路ならびにその沿道や周辺地域を舞台に、多様な主体（地域住民、ＮＰＯ、企業、大学関係者、警察、地方公共団体等と道路管理者）による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源や個性を活かした風景を創成する運動を促し、観光の振興や地域の活性化に寄与することを目的としています。

東北風景街道協議会は、日本風景街道の理念・目的に基づき、東北地方に風景街道を広め、東北地方の素晴らしい原風景、伝統、人情が堪能できる風景を実現し、その育成を図ることを目的に設立されています。

今回の協議会では、東日本大震災で被災を受けた東北地方の復興を、観光振興や地域の活性化の面から盛り上げていくため、各地域で取り組みを行っているパートナーシップの活動に対して指導・助言を行うとともに、優れた活動に対して表彰を行い、東北地方の復興につなげていくものです。

【協議会開催概要】

◆日時：平成２４年３月７日（水）１５時００分～１７時３０分
◆場所：エル・パーク仙台　６階「ギャラリーホール」
◆次第
　１．挨拶
　２．議事
　　１）平成２３年度の活動報告
　　２）平成２４年度の活動計画（案）
　　３）表彰審査
　　４）各パートナーシップからの活動報告及び委員からの指導・助言
　　５）表彰結果発表

※日本風景街道には、全国で１２６ルート、東北では２０ルートが登録されております。

【添付資料】

◆日本風景街道の概要と東北ブロックルート図　（資料１）
◆東北風景街道協議会委員名簿　（資料２）

※なお傍聴については、会場の都合上、マスコミの方のみとさせていただきます。

〈発表記者会：青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、秋田県政記者会、
山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先　国土交通省東北地方整備局　TEL　022-225-2171（代表）
道路部　道路計画第二課　課長　舟山（ふなやま）　和重（かずしげ）（内4251）
建設専門官　宍戸（ししど）　英雄（ひでお）（内4256）

東北風景街道の表彰制度について

１．目的

表彰制度は、課題解決に向けた取り組みの共有と活動を育成するため、また、今後の活動の励みにしていただくことを目的に、東北風景街道協議会の活動の一環として実施するものです。

２．表彰部門

「景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした原風景を創成する運動を促し、以って、地域活性化、観光振興に寄与することである」とする風景街道の目的に合致した以下の４部門を設置しています。

【ビューポイント・景観部門】
　見晴台の整備、看板の統廃合など。（具体的な計画策定も含む）
【滞留拠点部門】
　おもてなし・くつろぎ空間の創出など。（具体的な計画策定も含む）
【広報PR部門】
　イベント・ホームページ等を活用した広報など。
【協議会特別部門】
　上記以外で独自に活動している取り組みなど。

３．各部門へのエントリー団体

【ビューポイント・景観部門】
・のしろ白神の道（秋田県）

【滞留拠点部門】
・のしろ白神の道（秋田県）
・桑折宿まちなか街道（福島県）
・城下町あいづ道草街道（福島県）
・黄花紅の東むつ湾ルート（青森県）

【広報PR部門】
・のしろ白神の道（秋田県）

【協議会特別部門】
・のしろ白神の道（秋田県）
・ふくしま浜街道ハッピーロード（福島県）
・出羽の古道　六十里越街道（山形県）

【資料１】

日本風景街道

日本風景街道とは

住民、NPO、企業など地域が主体となって、行政と連携しながら、道を舞台に地域ならではの風景や自然、歴史、文化などの資源を活かした「美しい景観づくり」や「活力ある地域づくり」に取り組む、それが「日本風景街道」です。



風景街道を構成する要素

日本風景街道は、「地域の資源」と「活動する人たち」、「活動内容」、「活動の場」から構成されるもので、それらを総称して「風景街道」といいます。

風景街道

地域資源


景観資源　街並み、人工物、ランドマーク、棚田等


自然資源　世界遺産、自然公園、山河、動植物等


歴史資源　街道史、神社仏閣、遺跡、歴史的人物等


文化資源　世界遺産、民話、祭り・芸能、食文化等



体験・交流資源　レクリエーション施設、体験・交流施設等


施設・情報資源　道の駅、温泉、地場産業、展覧会等

活動主体（風景街道パートナーシップ）

活動に応じて必要な組織の例

- 地域住民
- NPO
- 町内会・自治会
- 企業
- 大学関係者
- 警察
- 地域公共団体（市町村等）
- その他

＋

- 道路の管理者

活動内容

地域固有の資源を活かし、蘇らせるための活動

●古道・旧道の発掘



●ワークショップの開催



●観光拠点へのアクセス向上



美しい景観・風景を創出する活動（美しくない景観を改善する活動）

●広告看板の撤去・修景看板の設置



●無電柱化



●植栽・道路清掃活動



来訪者をもてなし、楽しませる活動

●案内看板の整備



●駐車場・ビューポイントの整備



●オープンカフェの設営



●ツアーガイドの実施



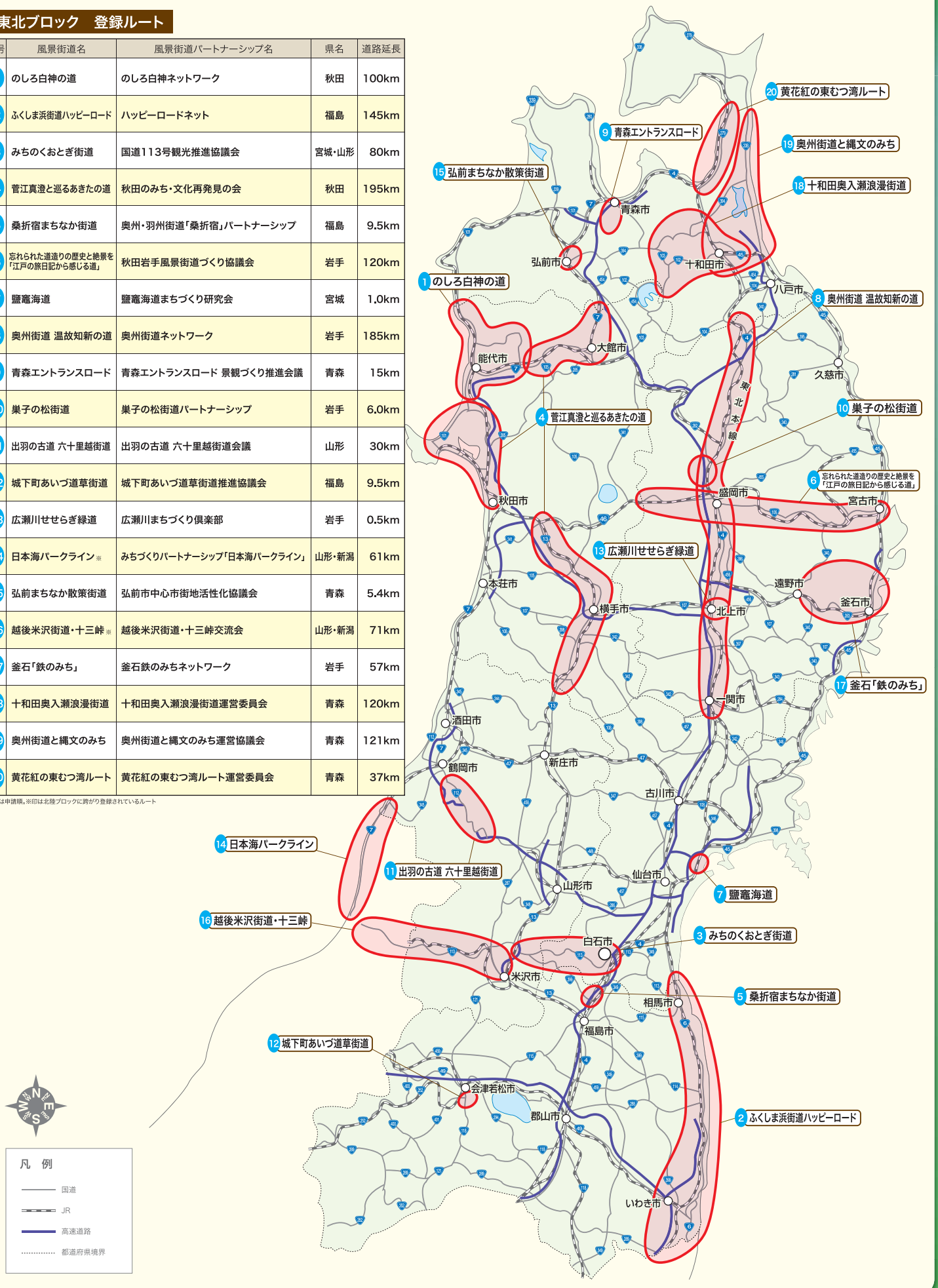
【資料１】

日本風景街道（東北ブロック）ルート図

東北ブロック　登録ルート

番号	風景街道名	風景街道パートナーシップ名	県名	道路延長
1	のしろ白神の道	のしろ白神ネットワーク	秋田	100km
2	ふくしま浜街道ハッピーロード	ハッピーロードネット	福島	145km
3	みちのくおとぎ街道	国道113号観光推進協議会	宮城・山形	80km
4	菅江真澄と巡るあきたの道	秋田のみち・文化再発見の会	秋田	195km
5	桑折宿まちなか街道	奥州・羽州街道「桑折宿」パートナーシップ	福島	9.5km
6	忘れられた道造りの歴史と絶景を「江戸の旅日記から感じる道」	秋田岩手風景街道づくり協議会	岩手	120km
7	鹽竈海道	鹽竈海道まちづくり研究会	宮城	1.0km
8	奥州街道 温故知新の道	奥州街道ネットワーク	岩手	185km
9	青森エントランスロード	青森エントランスロード 景観づくり推進会議	青森	15km
10	巣子の松街道	巣子の松街道パートナーシップ	岩手	6.0km
11	出羽の古道 六十里越街道	出羽の古道 六十里越街道会議	山形	30km
12	城下町あいづ道草街道	城下町あいづ道草街道推進協議会	福島	9.5km
13	広瀬川せせらぎ緑道	広瀬川まちづくり倶楽部	岩手	0.5km
14	日本海パークライン※	みちづくりパートナーシップ「日本海パークライン」	山形・新潟	61km
15	弘前まちなか散策街道	弘前市中心市街地活性化協議会	青森	5.4km
16	越後米沢街道・十三峠※	越後米沢街道・十三峠交流会	山形・新潟	71km
17	釜石「鉄のみち」	釜石鉄のみちネットワーク	岩手	57km
18	十和田奥入瀬浪漫街道	十和田奥入瀬浪漫街道運営委員会	青森	120km
19	奥州街道と縄文のみち	奥州街道と縄文のみち運営協議会	青森	121km
20	黄花紅の東むつ湾ルート	黄花紅の東むつ湾ルート運営委員会	青森	37km

番号は申請順。※印は北陸ブロックに跨がり登録されているルート



【資料２】

東北風景街道協議会委員

氏　　名	役　　職
（協議会会長） 藤　崎　三郎助	東北経済連合会　副会長
里　見　雅　行	日本観光振興協会東北支部　支部長
志　賀　秀　一	（株）東北地域環境研究室　代表
鈴　木　紳　一	河北新報社　営業本部　事業部　事業部長
早　坂　一　雅	一般社団法人日本自動車連盟東北本部　事務局長
堀　　繁	東京大学　アジア生物資源環境研究センター　教授
堀　　好　治	日本旅行業協会東北支部　支部長
松　田　悦　子	元　日本青年会議所東北地区協議会　会長
間　庭　　洋	東北六県商工会議所連合会　常任幹事
宮　原　育　子	宮城大学　事業構想学部　教授
	（敬称略・五十音順）
川　瀧　弘　之	東北地方整備局　道路部長
大　澤　健　治	青森県　県土整備部長
若　林　治　男	岩手県　県土整備部長
橋　本　　潔	宮城県　土木部長
富　田　耕　司	秋田県　建設交通部長
鹿　野　正　人	山形県　県土整備部長
原　　利　弘	福島県　土木部長
栗 和 田 幸 夫	仙台市　建設局長

（平成24年3月1日現在）